

じゃがいものうち通信 NO. 48 2006. 7. 6

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

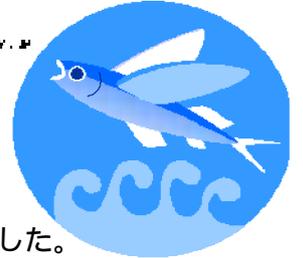
NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel. Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL: <http://www.minc.ne.jp/npo-jaga> 代表 松田 正

障害者自立支援法その後



何がなんだか分からないうちに施行された自立支援法、5月に入ってから、施設利用者には利用料の請求が届いて、仰天された方がたくさんおられると聞いています。そして施設利用をあきらめざるを得ない人もいます。悲しいかな3月から5月の間に一家心中に追い込まれた方が15件もあると聞きました。そんなことになるのは社会の何かがおかしい！

私は障害者福祉に対する考え方に原因があると思います。なにも好き好んで障害者になった方はおられないと思います。いろんな障害を持った人と、同じ時を共に暮らしているのが現実の社会です。だとしたら、その障害によって受ける不利益についてはみんなで助け合っていこうよ、というのが障害者福祉の原点だと思います。障害のために社会生活を営む上で、普通の人と同じスタートラインにたてない人については、社会の責任として保障しましょう、というのが本筋だと思います。それが社会保障じゃないかと。

具体的には自分で移動できない人には、本人の求めに応じて介助する人の助けを借りる、自分で食事をとれない人には、サポートする人を派遣する。そういう生きる上で最低限必要な補助は、本人の負担なしでやるのが当然だと思います。同じ時代を同等に生きていこうとするのならば。しかしそれが障害者自立支援法では、利益を受けるんだから**1割負担をしろ**というのです。

“自立支援”という美名に隠された欺瞞の実態が現れてきている時です。今からでも出来ることはあります。声を上げることです。障害者団体などから応益負担を撤回することを求める署名などがきたときには、進んで協力することも一つの方法です。選挙の時、公約をきちんと読んで投票すること、これが一番強力です。住みやすい社会にするか否かは、皆さんの選択によって決まります。

(松田)

小規模多機能とは

少し前まで富山型デイサービスという呼び方で、これからの地方の福祉の形として注目されていたものがあります。宅老所がベースになって障害を持った人も、乳幼児も一つの大家族のように暮らす生活の形です。大家族というのは、住人それぞれが自分の役割を持っていて活躍の場面があるのです。今までのデイサービスのように、ただサービスを受けるだけのものではなく、人の役に立てる場面があるのです。そんな民間が先導したものをこれからの介護の手本にと始められたのが、4月に改正された介護保険事業の中に小規模多機能型居宅介護事業として取り上げられました。(富山型のデイサービスの様子を紹介したNHKのビデオがあります。DVDですが、見てみたい方は貸し出しますのでご利用ください。家庭で見られない場合は「じゃがいものうち」でも見られますのでご相談ください。)

制度上は介護保険の事業なので高齢者だけに対

応のものですが、本来の障害者も子どもも含めた形のもので、人口規模からいっても屋久島にふさわしい福祉の形じゃないかと思っています。住み慣れた場所で、最後まで役割を持って生きられるというのは理想の形だと思います。

「じゃがいものうち」ではそんな屋久島型の小規模多機能の事業を計画しています。集落の中にあって誰でもものぞいていける、ちょっと立ち寄ってお茶でも飲んでいける憩いの場所、しかも必要ならそこに住むことも、家族に用事の出来たときなどしばらく泊まることの出来る、そんな事業を考えています。

そんなことをいっても急には無理なので、定期的にお茶のみの会など出来ればいいなと考えています。グランドゴルフには参加できないけど、たまにはちょっと集まってお茶でものみたいな～と思っている方、ぜひ「じゃがいものうち」に一声おかけ下さい。

(松田)

2006年度 総会報告

2006年5月7日(日)尾之間管理センターにおいて、総会が開催されました。4月23日現在、一般会員70名中出席者24名、委任状23名で総会は成立し、開会挨拶、議事録署名人選出、議長選出後、議案の審議にはいりました。下記のすべての案件は承認され、新たな活動へのスタートが切られました。

- 第1号議案 2005年度活動報告
2005年度会計報告
2005年度会計審査報告

- 第2号議案 役員改選
第3号議案 これからの「じゃがいものうち」について
第4号議案 2006年度予算案

その他午後は「お楽しみ会」を催し、午後4時終了しました。

退任された永綱さん、小笠原さん、お疲れ様でした。(四宮)

子持ちギャルの《ひとこま見聞録》

自分のことになりませんが、よく人から聞かれることがあります。「裕子さんはどうして障害を持つ子供がいるわけでもないのに、『じゃがいものうち』や『手をつなぐ育成会』のお手伝いをしているの?」と。私も以前はこういったボランティアに興味はありませんでした。では、なぜお手伝いをするようになったのかというと、私は結構ひどい喘息持ちで、今10歳になる子どもがまだおなかの中にいるときに、(その頃は千葉県の浦安に住んでいました。)何度かひどい発作を起こしまして、その度に強い薬を使い、発作を止めました。その薬は、おなかの中の子どもにもリスクがあります。なにかしらの障害を持って生まれて来る可能性があるということです。そのことをお医者さんから告げられたとき、正直に言えば悲しかったです。同時に、自分は障害について全く無知であること、それどころか、「自分にとっては無関係なこと」としていたことに気がきました。悲しんでいたってしかたがありませんから、それからは、友だちになって、少しでも身近な存在になりたいと、障害を持つ子どもや、そのお母さんたちに声をかけ始めました。そうすると、どうして「自分にとっては無関係」とされてしまったの

かが見えてきました。それは、小学校の特殊学級です。どの子どもも、その子に合った学習の方法で勉強する権利はあるので、特殊学級が悪いと言っているわけではありませんが、幼心に「あの子はいつも自分たちとは違う場所にいる」という意識を植え付けてしまったことには違いありません。「これはまずい!自分の子どもたちも、こんな意識を持ってしまったら大変だ!」と思い、出産後も、子どもぐるみで関わりを持つよう心がけ、そして今も障害を持っている方々のそばにいらしていただいています。長くなってしまうのですが、先日おじゃましました、沖縄県の伊江島という所にある『わびあいの里』(反戦資料館でもあります)の入り口に掲げられていた言葉です。「やすらぎの家-福祉とは、やすらぎを得るところです。この家は、お年寄りも子どもも身体の不自由な人もそうでない人もお互いに生きがいを求め、共に助け合い能力に応じて生産につとめ、こころづくりとからだづくりのためのやすらぎの場としてつくられたものです。」

フォロ-しあう関係づくりが大切だと感じます。学校でも地域社会でも。

(鈴木裕子)

行事報告

御苦労さん会 4月2日(日)

2月、3月にタンカンジュースづくり、じゃがいもの収穫、又ウコン、ガゼツの収穫と皆でがんばった。作業も終わり楽しい慰労会を保健センターでいたしました。タンカンジュースを使った試食品やケーキと楽しい時間でしたネ。又、宮之浦出身の藤村智史君が自作の唄を歌ってくれました。屋久島を感じ、屋久島から生まれた唄で心にしみいる優しい唄でした。皆で一緒に合唱したりして、楽しく有意義な一日でした。

(柴 堯子)



じゃが千恵・汗取り着作り 4月16日(日)

作業、作業と続いた後の行事ということもあり参加者は三人でした。でも大原さんの目の見えるうちに伝授しておきたいという気持ちが分かる素敵な汗取り着が出来ました。ちょうど梅雨時の蒸し暑いこの頃、下着というよりも部屋着として重宝しています。バイヤステープの色遣い、タオル地の大きさ、柄等で子どもからお年寄り、女性も男性も楽しめます。胸のたるんできた私は脇につけた紐でぎゅっと胸を持ち上げて、とても快適です。大原さんから作り方を忘れないうちに一枚自分で作って下さいと言われたのに・・・

(咲美)

産業祭出店 4月29日(土)

尾之間に家を建てて2年足らずで、私どもは埼玉と屋久島を行き来していますので、今は「じゃがいものおうち」には賛助会員で入会させていただいています。今年の産業祭は、楯さんの奥さんからの誘いで、前日のジャガイモの皮むきを「じゃがいものおうち」でお手伝いさせていただきました。知らない方もいらっしゃるかもしれませんが、和気藹々とおしゃべりもしながら楽しく皮むきができました。当日は、朝からお芋を蒸かしてウインナーとジャガイモを串刺にしました。作るそばから



どんどん売れて、行列ができてすぐに無くなり皆さんに美味しく食べていただき、お役にも立ててうれしく思っています。じゃがコロの他に手をつなく育成会のうどんのコーナーがありましたが、こちらはお手伝いできませんでしたが、主人は、産業祭の数ヶ月前に楯さんから、開発中とのことで試食用にといただいたのですが、そのときは、ちょっと腰が無く柔らかいと言っていました。当日いただいたときには腰もあり大変美味しく、これも当然のように完売して凄いいと思いました。全て自家栽培で、商品化までされたのは皆様の暖かいお気持ちによる共同作業の賜物だと思います。次回も是非お手伝いさせていただきたいと思っています。(吉田)

地域通貨学習会 6月4日(日)

13:30~15:30「じゃがいものおうち」総会での提案を受けて、学習会を行いました。松田から地域通貨の簡単な説明と、屋久の水代表の川上さんと平田さんに現状の説明をして頂き、話し合いを行いました。「じゃがいものおうち」での活用についてはボランティアに対する御礼とか、当事者へのプレゼントに使えないかなどの提案があり、「屋久の水」のほうでも協議して頂くことで終了しました。現在は、喫茶での飲み物とリサイクル品での利用が可能です。

小規模多機能学習会 6月18日(日)

13:30~16:00 尾之間管理センター 富山型デイサービスが紹介されたビデオを見まして、老人、子ども、障害者がまじって一日を過ごして行く。互いに良い刺激があり、人としての心を育んでくれる、そんな場が今、屋久島には必要だなと感じ入りました。ビデオの後皆でお茶を飲みながら、この事業を立ち上げる為に必要な準備等の話をしました。

手をつなく育成会コーナー

5月は総会のシーズン、それぞれに活動している団体はこの時期前年度の活動報告をし、その反省や改善を元に新年度の活動計画を立て、新たなスタートを切ります。手をつなく育成会も同様に無事総会を終え18年度の活動が始まっています。6月になると上屋久町、屋久町両町にある福祉4団体 身体障害者福祉協会、老人クラブ連合会、母子寡婦福祉協議会、手をつなく育成会 と民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会が一同に集まり、「屋久島地区福祉団体合同会議」を行います。この会議は各団体の連携協力をもって年間の福祉全体の行事計画を立てる会議です。その中で大きな話題となったのは両町の合併について、これから財布も活動内容も違う会がひとつになる、その準備の為に今年度は取り組む必要があるという事と、国・県からの助成金が、どの会も大幅に削減ないしゼロになってしまい、それを活動財源としていた各団体は、「お上は何を考えているの?」「今までの活動が出来ない! どうすればいいの?」と今年はいつになく重たい会になりました。

福祉の当事者でなければなかなか理解は難しいことですが、今回は両町にはこの様な団体があり毎年の行事として活動している事を知って頂きたかったのです。

しかし、我が育成会の子どもたちは、そんな親の気も知らず、毎週水曜の活動日を今か今かと待ち続け、楽しみにしています。今は草木染めをした糸を編む作業には女性が、畑仕事と塩作りに必要な道具作りには男性が取り組んでいます。これからは夏祭に向け、うどん屋出店を各集落でやる事を目標にしています。

誰しも認められたい、活躍したい、人の役に立ちたい、という想いは同じです。その機会・場を得る為、そして地域の方々の理解を得る為に今年の夏は熱い夏になりそうです。(楯)

行事予定

じゃが千恵 豚味噌を作るう!

豚味噌は、うまい!! ご飯がもう一杯食べれる! タンカンジュースに続く新製品の開発に取り組んでみよう。まずはじゃが千恵からのワンステップ!なのだ。

日時 7月9日(日)
AM10:00~PM 2:00
場所 じゃがいものおうち
持ち物 エプロン、まな板、包丁、御持ち帰り用容器。お弁当
担当 楯、渡邊

尾之間温泉祭

日時 8月5日(土) 管理センター
出店品目 じゃがころ、タンカンジュース、綿菓子、かき氷、お茶・ビール(発泡酒)
担当 楯
具体的な作業は、じゃがころの皮むきに相当な手がかかる為に8月5日(土)当日の午後1時より拠点で行います。包丁・まな板を持参して下さい。尚、出店準備は午後5時から始まります。出店担当者は清潔な服装、三角巾又はスカーフとエプロンを持参して下さい。

キャンプ

日時 8月19日(土) 午後1時~
20日(日) 午前10時まで
場所 栗生 屋久島青少年旅行村
持ち物 お米 1人2合
食事はカレーライスですので、食器類(おさら、スプーン、コップ)は自分でもってきて下さい。アルコールを飲まれる方は、自分たちで準備をしましょう!

キャンプの内容

昼: つり・海水浴・スイカ割り等。
夜: 花火大会・みんなで合唱・キャンプファイヤー等。

申し込み〆切 8月10日「喫茶」まで
(費用、参加料は要りません)

担当 鈴木



「尾之間温泉祭」「キャンプ」について、今年は療育親の会と手をつなぐ育成会も参加希望ができています。

会費納入有り難うございました(50音順 敬称略 6月30日現在)

一般会員 井原広悦 木下 忍 斉藤幸子 佐々木澄江 谷本正和 永綱光代
賛助会員 荒田詣子 飯田和巳 川上雄治 木引キヨ 田中 洋 西森利江 満園清子

感謝録 (順不同 敬称略)

小笠原勝弘 石川美耶子 泉や倶楽部 星野京 岡村和子 柴堯子 野崎ひさ子 浅野敦子 相良博子
鈴木裕子 高見澤義男 羽生るみ子 羽田順子 斉藤幸子 岩川清美 大久保芙美子 笹川昭子
パロン・サユリ、パスカル 岩川絹子 楯陽子 ありがとうございました。

喫茶コーナー

商品棚の紹介 「じゃがいものおうち」には、「環境にやさしい洗剤」として洗濯用粉せっけん、重曹(使い方説明あり)、台所用・お風呂用洗剤、シャンプー、リンス、歯みがき、固形せっけん等が色々そろっております。

また、小笠原さん手彫りの仏像。松田さん手作りのボールペン、シャープペン。沼田夫妻のCD。間伐材や流木で作った器。屋久島の自然と人の暮らしを伝える「生命の島」、手作りの「クルクル新聞」があります。他には、屋久島茶(新茶) コーヒー(深煎・豆・粉) 紅茶、春うこん、秋うこん、ガジュツ、たんかんジュース等の心のこもった商品がいっぱい並んでおります。

気軽にのぞいて見て下さいね。

お願い 電子レンジを「じゃがいものおうち」に譲って頂けないでしょうか。

(K, H)



編集後記

ごめんなさい... また書きすぎてしまいました。
ご意見、ご要望、私にも言わせて、という方お待ちしております。(子持ちギャル)
大久保さんが「鹿児島市吉野町」へ転居されました。
今年度の通信担当は、相変わらず楯、永綱、鈴木、丸山です。よろしく。

